

2018年度決算報告

1. 2018年度の決算概要

事業活動のサービス活動収益は15億2,687万円となり、予算比で102.8%、4,211万円増となりました。(前年比101.5%) 事業毎では、介護事業：前年比99.9%・予算比97.9%、保育事業：前年比102.0%・予算比107.5%、児童支援事業：前年比109.6%・予算比110.6%となりました。

サービス活動費用は、14億5,767万円、予算比99.7%と予算内に収まりました。事業毎では、介護事業：予算比100.3%、保育事業：予算比101.0%、児童支援事業：予算比90.5%となりました。人件費は収益比73.8%で、予算比で100.5%、事業毎では、介護事業：予算比102.5%、保育事業：予算比100.8%、児童支援事業：予算比90.7%となりました。非常勤職員の賃金改定を行なっています。

当期活動増減差額は、保育事業6,396万円・児童支援事業2,685万円の黒字、介護事業で▲546万円の赤字を計上し、法人合計で9,124万円の黒字となりました。

<事業活動計算書 概要>

単位：万円

		サービス活動 収益計	サービス活動 費用計	サービス活動 増減差額	経常増減差額	当期活動増減 差額
介護事業	2018年度実績	73,901	73,868	32	155	▲ 546
	2018年度予算	75,534	73,671	1,862	2,019	915
	2017年度実績	73,934	73,359	574	754	▲ 345
	予算比	97.8%	100.3%	1.8%	7.7%	-59.7%
	前年比	99.9%	100.6%	5.5%	20.5%	158.3%
保育事業	2018年度実績	66,157	59,297	6,860	8,075	6,396
	2018年度予算	61,519	58,710	2,808	3,528	1,829
	2017年度実績	64,850	57,597	7,252	8,313	6,748
	予算比	107.5%	101.0%	244.3%	228.9%	349.7%
	前年比	102.0%	102.9%	94.6%	97.1%	94.8%
児童支援事業	2018年度実績	12,628	9,283	3,344	3,363	2,685
	2018年度予算	11,422	10,253	1,168	1,744	1,084
	2017年度実績	11,522	9,083	2,439	2,463	1,803
	予算比	110.6%	90.5%	286.1%	192.8%	247.5%
	前年比	109.6%	102.2%	137.1%	136.5%	148.9%

法人合計	2018年度実績	152,687	145,767	6,919	8,391	9,124
	2018年度予算	148,475	146,208	2,267	3,842	4,182
	2017年度実績	150,308	143,417	6,891	8,273	8,793
	予算比	102.8%	99.7%	305.2%	218.4%	218.1%
	前年比	101.5%	101.6%	100.4%	101.4%	103.7%

資金収支差額合計は、積立資産支出 3,900 万円（白い鳩 900 万円、洛西 2,700 万円、青い空 300 万円）を行ない 3,299 万円の黒字となりました。今期の 100 万円以上の投資は、あらぐさ保育園エアコン改修工事 708 万円・屋上防水工事 109 万円、青い空保育園塀改修工事 280 万円・トイレ改修 259 万円・プール購入 132 万円、パーチェ屋上フェンス改修 138 万円・洛西保育園印刷機購入 304 万円、を行なっています。固定資産取得支出は 2,893 万円となり、事業活動資金収支差額 1 億 2,896 万円と京都市等からの補助金で、借入金元金返済 4,328 万円と合わせ対応しました。

<資金収支計算書 概要>

単位：万円

	事業活動資金 収支差額	設備資金借入金 元金償還支出	固定資産取得 支出	積立資産支出	当期資金収支 差額
18年度実績	12,896	4,328	2,893	3,900	3,299
18年度予算	13,151	4,203	950	3,800	4,638
17年度実績	11,678	4,328	2,675	5,000	3,599
予算比	102.9%	103.0%	304.6%	102.6%	71.1%
前年比	110.4%	100.0%	107.9%	78.0%	91.7%

総資産は、25 億 7,467 万円で前年度より 2,983 万円の増加となっています。流動資産は、事業活動収支の結果等で 3,622 万円の増加となっています。固定資産は、積立金等の増加、減価償却減の差引で▲638 万円の減少となっています。

負債は、5 億 9,959 万円で前期より 4,513 万円の減少となっています。今期新たな借入金は、ありません。長期借入金返済は予定通り 4,328 万円の返済をおこなっています。

純資産は、当期活動収支差額 9,124 万円の黒字、国庫補助金の償却減、積立金等の結果、19 億 7,507 万円で、7,496 万円の増加となりました。

<貸借対照表>

単位：万円

	2018年度	2017年度	前期差額
総資産	257,467	254,483	2,983
流動資産	74,012	70,390	3,622
固定資産等	183,454	184,093	▲ 638

負債	59,959	64,473	▲ 4,513
流動負債	19,267	19,266	1
固定負債	40,691	45,206	▲ 4,514
純資産	197,507	190,010	7,496
次期繰越活動差額	89,871	84,646	5,224
内当期活動差額	9,124	8,793	331

2. 各分野の状況

(1) 介護事業

特養都和のはなは、7/25より短期入所生活介護を開所し、4人55日間の利用がありました。ベット利用率は95.6%（前年比93.3%）となり、目標には届きませんでした。報酬改定による加算の取得により、当期活動増減差額は265万円の黒字となりました。

老健西の京は、ベット利用率は95%目標で年間平均94.2%でした。在宅復帰率は、年間平均41.0%、昨年度より6.2%アップしました。通所リハビリテーションは、1日平均25.1人、延べ数601.4人（16年度29.0人、延べ数735.1人）と急速に減少してきています。介護報酬改定を受け在宅強化型老健を12月より算定開始しましたが、通所リハビリテーション、居宅介護支援、配食の利用者の減少により、当期活動増減差額は▲467万円の赤字となりました。

グループホーム都和のはなは、今期の退所者は3名、入院の空室により、利用率は93%となり、当期活動増減差額は▲181万円と2年連続赤字を計上しました。

ケアステーション虹の家は、居宅介護支援は目標63件に対し月平均67.1件（前年比112.5%）と目標達成、訪問（予防）介護は管理者の産休入りなどで、目標45件に対し39.1件（前年比86.3%）と目標未達成となりました。常勤体制の補強もあり、当期活動増減差額は▲161万円の赤字となりました。

介護事業合計は、当期活動増減差額は▲546万の赤字、当期資金収支差額は▲863万円の赤字と厳しい結果となりました。

(2) 保育分野

各園の入園状況延べ人数は、白い鳩保育園1,516名（1か月平均126.3名、前年度比98.4%）、洛西保育園1,743名（1か月平均145.3名、前年度比97.8%）、あらぐさ保育園684名（1か月平均57名、前年度比100%）、青い空保育園812名（1か月平均67.7名、前年度比104.5%）となりました。

白い鳩保育園は、当初園児数の確保が厳しく、入園募集に力を入れ、年平均126.3人まで園児数を増やしました。また、医療的ケア児が認められ補助金のアップも出来ました。

洛西保育園では、今年も多く多くの定員外園児を受け入れています。中央病院移転に伴い入園希望者が減少することが予想されるので園児募集の手立てを進めています。

あらぐさ保育園では、園児数、職員体制共に落ち着いた1年でした。

青い空保育園は、年々受け入れ園児を増やし、年度途中でクラス移行を行うなどして対応してきました。

サービス活動収益は、白い鳩保育園前年比 102.4%・予算比 108.5%、洛西保育園前年比 100.3%・予算比 101.4%、あらぐさ保育園前年比 102.4%・予算比 113.0%、青い空保育園前年比 105.4%・予算比 112.4%となり、全体で前年比 102.0%1,306 万円の増収・予算比 107.5%となりました。今年度の保育の委託費単価は、前年比 100.78%~100.86%の引き上げがあり、保育園合計で約 440 万円の増収となっています。

サービス活動支出の減価償却費が予算比 105.2% 147 万円増となりました。予算に組み込んでいなかった、京都市等の補助事業の運用を必要な手続きを経て具体化しました。

当期活動収支差額は、白い鳩保育園（1,055 万円の黒字）、洛西保育園（2,387 万円の黒字）、あらぐさ保育園（1,857 万円の黒字）、青い空保育園（1,096 万円の黒字）、合計で 6,396 万円の黒字（予算比 349.8%）となりました。

（3）児童支援

児童発達支援事業の利用状況は、パーチェ年間 3,148 名（1 日当たり 11.0 名、前年比 103.9%）、第二パーチェ年間 2,778 名（1 日当たり 9.6 名、前年比 97.4%）、パーチェ梅小路年間 2,691 名（1 日当たり 9.3 名、前年比 95.3%）、相談支援パーチェ計画相談 283 件（月平均 23.6 件、前年比 88.1%）モニタリング 247 件（月平均 20.6 件、前年比 104.2%）となっています。

サービス活動収益は、パーチェは前年比 122.7%、第二パーチェは前年比 110.9%、パーチェ梅小路 96.1%、相談支援パーチェは前年比 101.5%、合計で前年比 109.6%（1,106 万円の増収）となりました。報酬改定で基本報酬が引き下げられましたが、加算体制でパーチェ・第二パーチェは対応。

当期活動増減差額は、パーチェ 988 万円、第二パーチェ 924 万円、パーチェ梅小路 481 万円、相談支援事業パーチェ 290 万円、合計で 2,685 万円の黒字（予算比 148.9%）となりました。

3. 利益処分の提案

今期繰越利益	91,249,792
今年度積立金	39,000,000
次期繰り越利益に繰入	52,249,792

4. 社会福祉充実計画の対応

社会福祉充実残額は 0 円となり、社会福祉充実計画の対象ではありませんでした。

以上